

活動分野	南総部会		
タイトル	清和県民の森「鑑賞炭づくり」		
実施日時	2019年2月16日(土) 10時 ~ 14時		
実施場所	清和県民の森「木のふるさと館・デイキャンプ場」		
受講者	8名(こども1名)	FIC 会員・県民の森関係者	7名

活動の内容 冬の定番企画「鑑賞炭づくり」

まだまだ寒い日が続く2月。冬の暖かい定番企画「鑑賞炭づくり」を、楽しみます。リピーターの3名を含め、それぞれ炭にしたいものを持参、寒さもなんのその、やる気満々です。県民の森の所長さんから「清和県民の森」の来歴、薪炭文化の話、清和の炭の自慢話(!)を聞いたのち作業開始。



松ぼっくりやハスの実、椿の花、ブロッコリーなど、なんでも鑑賞炭にできますが、乾燥して堅いものは、比較的、短時間で焼き上がりますが、生のもの、大きいものは時間がかかります。同じ缶に、同じ焼き時間のものを入れるのがポイント。



参加者は、各自、一つのカマドを使い、複数の缶を焼くことができます。薪に火をつけるのも久しぶりの体験、昔取った杵柄(?)と言いたいところですが、リピーターの小学生の方が上手なくらいです。

焼きのポイントは、缶に炎がまわるくらいの強い火力。最初は、水蒸気の白い煙が出てきます。やがて煙が青から透明に近くなったら出来上がりです。早いもので20~30分、生ものは、1時間くらいかかることもあります。FICの担当者が缶をカマドからおろし、完全に冷めたら中味を確認します。熾火で、焼き芋も作ります。



昼食には、県民の森から美味しい味噌汁の差し入れ、デザートは、ホクホクの焼き芋。昼食後は、それぞれ籠に作品の飾り付けを行います。初めて作った人も、リピーターの人も思い思いの感想を、楽しそうに話して頂きました。

「薪の火のつけ方を教えて頂きました。丁寧に教えて頂き楽しく体験でき良かったです。」「毎年たのしみに参加しています。今年は、ナタも使わせてもらい貴重な体験ができました。」「初めての参加で不安もありましたが、説明も良く楽しくできました。昼食に汁を用意していただきありがとうございました。」「薪の火で鑑賞炭を作ったのは初めてで、とても楽しかったで



す。焼き芋やお味噌汁も美味しかったです。」など、十分満足とのコメントを、みなさまから頂きました。